

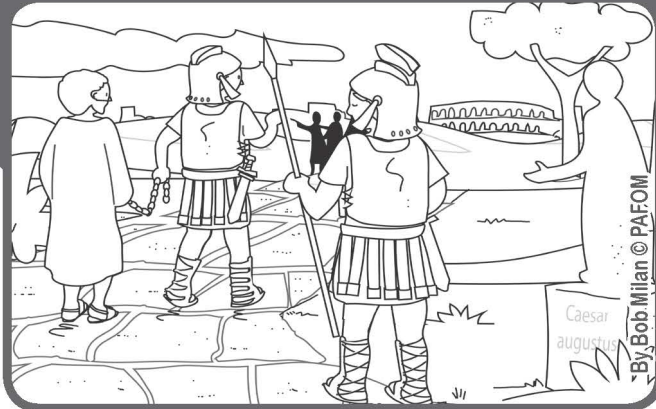


わたしたちは「ゆうしょう」しました！

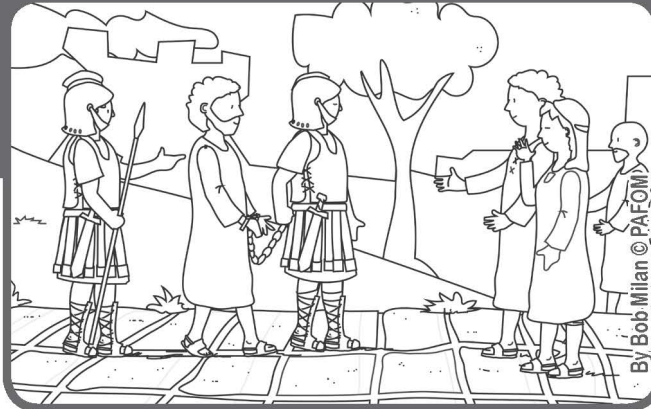


フォコラーレ

だれが、キリストのあいからわたしたちをひきはなすことができますよ。
(ローマ 8・35)



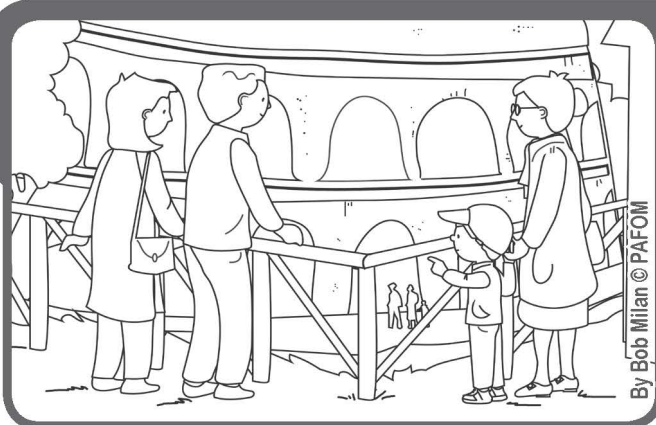
パウロはたくさんのたびをして、ローマにたどりつくところです。おなかがすいたり、けがをしたり、ころされそうになったり、たくさんたいへんなことがありました。



パウロはかみさまはけってひとりぼっちになさらないことをあかししました。



ローマのクリスチャンたちに「わたしたちが、もしかみさまのあいにしんらいするなら、わたしたちは「ゆうしょう」するひとよりもっとすごいのです」とてがみにかきました。



エドワルドはさいきんローマにひっこしました。あるひみんなでローマのコロッセオにいきました。エドワルドはおとうさんに「あのなかでなにがあったの？」とききました。



おとうさんは、むかしクリスチャンが、はくがいされていたとき、クリスチャンはあのなかでライオンにたべられたことをはなしてくれました。エドワルドはだまってきいていました。



エドワルドは、いえにかえっておとうさんとおかあさんにいいました。「イエスさまのために、ライオンにたべられてもいいよ！」
エドワルドのけいけん